

0・2歳児親子遊び事業「とんぐり会」「ジーバー会」

【支援金確定額：791,256円 支援率：40.37%】

取材日：平成23年（2011年）11月24日

■どのような活動をされていますか？

0歳児「とんぐり会」の始まりの時間になると、0歳児とママたちが元気な顔で部屋に入ってきます。保育士2名も一緒。さあ「とんぐり会」の始まりです。

当団体の活動は17年前からで、今日までに、2,600組の親子たちが遊びました。

地域で乳児を育てている若いママたちのために、親子の触れ合いを大切にしたいと、0歳児親子遊び「とんぐり会」と、2歳児親子遊び「ジーバー会」を運営しています。遊びは、おもちゃ遊び、わらべ歌、ミニ文学、親子体操など。同時に育児相談やママ同士の情報交換も行い、地域での乳児子育て活動に大きく貢献しています。



坪井公民館 0歳児クラス
お母さん達も子ども達もすぐ仲良くなります

■支援金をどのように活用されますか？

0歳児「とんぐり会」は、船橋アリーナと坪井公民館の和室で、15組の親子と保育士2名が、毎週1時間、年間34回、2クラス。2歳児「ジーバー会」は、船橋アリーナの多目的室で、20組の親子と保育士2名が、毎週1時間15分、年間34回、4クラス、遊んでいます。

2歳児の1クラスでは、次年度幼稚園にあがる子どもたちのために、最後の3ヶ月間、20分間親から離れて、子どもたちだけで遊ぶ時間を設けています。

活動は会費で運営されますが、支援金を受けて会費は半額の300円です。



赤ちゃんを引きつける手作り小物の数々
各20個を作りました

■今後の活動の抱負を教えてください。

当団体は年齢別の会員制です。同じ親子グループが毎週遊びを重ね、30分間のおもちゃ遊びを大切にしています。0歳児は、親がおもちゃを一つずつ手渡して根気と共感を育てます。2歳児は親が子どもを真似て遊び、2歳児の自発性と共感を育てます。

これからも、地域で子育て中の若い母親たちのために、親子の触れ合いを大切にしたい親子遊びの場所を提供し、「とんぐり会」「ジーバー会」の運営を続けます。

新企画として来年度より、育児の事前準備としての「妊婦教室」を開催する方針です。

～取材を終えて～

ママとのこちよいスキンシップ。早い遅いではない質を大切にしたいおもちゃ遊び、お片づけ、皆の名前を呼ぶ出席とり、わらべ歌、ハンカチ遊び、体操など。隣にはいつものお友達がいます。子どもたちはママと目を合わせながらゆったりと落ち着いて遊んでいます。中村代表の言葉によれば、「0歳児クラスでは、小物は赤ちゃんの注視力を育てる必需品です。さらに沢山のおもちゃの中で遊びながら、親は赤ちゃんにおもちゃを一つずつ手渡して、一つのおもちゃで遊ぶ時間を伸ばし、赤ちゃんの根気と共感を育てます」。

これが当団体のねらいとのこと。多くの赤ちゃんたちが、満足した顔で幸せいっぱい遊ぶ姿が今も心に残っています。

■関わり先（連絡担当者）：代表 中村 三和子（なかむら みわこ）

TEL：047-466-3375